

アミノ酸

「L-チロシン」

チロシンは、アミノ酸の一種で、フェニルアラニンという必須アミノ酸から作られます。

L-チロシンは、フォーカスと集中力において有益なサプリメントです。気分の変動を抑え、ストレス反応を減少させるため、不安な精神状態にもよい働きがあるといわれます。チロシンはドーパミンレベルを上げるため、検査結果で*ドーパミン値が高い場合は服用すべきではありません。甲状腺薬剤や抗うつ病剤とは絶対に同時に服用しない事が言われています。

*「ドーパミン」についてはOAT有機酸検査の神経伝達物質の代謝物「32番：ホモバニリン酸-HVA」を参考にしてください。

特別商品

「ド パプラス」「セロプラス」「ニューロピュア」

この商品は、20年以上メンタルヘルス障害のある患者の治療を行ってきた精神科医、ジェームス・グリーンブラット博士との協力で Pure Encapsulations 社により開発されました。

「ド パプラス」

ドーパミン生産をサポート。

ドーパミン先駆物質 L-チロシンと L-ド パ(ムクナ-八升豆由来)を提供

共同因子(栄養素)や抗酸化物質を含む

*ドーパミンが低い時に勧められます。

「セロプラス」

セロトニン前駆物質 5HTP を 100mg 提供

共同因子(栄養素)B6 やタウリン含有

*セロトニンが低い時に勧められます。

「ニューロピュア」

セロトニンとドーパミン療法の生産を促進

セロトニン、ドーパミン神経伝達物質先駆物質 5HTP と DI-フェニルアラニンと抗酸化物質ケルセチン含有

*相対的に神経伝達物質が低い時に勧められます。

*「ドーパミン」「セロトニン」についてはOAT有機酸検査の「神経伝達物質代謝物」の「32番：ホモバニリン酸-HVA」「35番：5-ヒドロキシインドール酢酸-5-HIAA」を参考にしてください。

「インターフェイス」「インターフェイスプラス」-酵素-

この商品の酵素は特別な酵素で、イーストやバクテリアに膜を作り抗真菌/抗細菌物質の働きを妨害する「バイオフィルム」に見られる「細胞外ポリマー(重合体)」を溶解し、細菌や酵母の細胞壁構造を分解する能力をもっています。

この酵素は、抗バイオフィルム活動を調べる試験管内で開発され、この試験によって潜在的な病原性細菌やイースト集合体であるバイオフィルムを破壊する非常に重要な抗バイオフィルム活動があることが分かりました。

抗真菌剤と同時にこれらの酵素を服用することで、さらに効果的に細菌・イーストを除去することが可能となります。

抗真菌剤や抗細菌剤でなかなか効き目がなかった方にも有効でしょう。

「インターフェイス」

インターフェイスは、消化器系に生息する潜在的な病原菌が埋め込まれている可能性のある、バイオフィルムマトリックスを破壊するためにつくられた、ユニークな酵素フォーミュラが配合されています。

バイオフィルムは、体内で生成されるエキソポリサッカライド(菌体外多糖)のマトリックス(細胞基質)と細胞外たんぱく質(Exoprotein)に包まれた微生物で構成されており、バイオフィルム内に生息する微生物は抗生物質やプロバイオティクスによってつくられるバクテリオシンを含めた抗真菌物質に抵抗性をもっています。

感応性の高いお子様にはゆっくりと効果を出すこちらが勧められます。そして数カ月後にインターフェイスプラスへ変更していくことが勧められます。

「インターフェイスプラス」

インターフェイスプラスは、インターフェイスと同じバイオフィルムマトリックスを破壊するためにつくられたユニークな酵素に、エチレンジアミン四酢酸(EDTA)を加えたサプリメントです。エチレンジアミン四酢酸(EDTA)は、バイオフィルム形成に必要な金属を結合します。

バイオフィルムを生成するためには、カルシウム、鉄、マグネシウムが不可欠です。

これらのミネラルは、ポリマー(重合体)のアニオン(または陰イオン)性界面活性領域を架橋(結合)するのに使われます。成人の方にはこちらが勧められます。

「インターフェイス」と「インターフェイスプラス」は、正常な胃腸機能と細菌叢をサポートするための努力と併せて使用することを目的としています。潜在的な病原体を排除するために行う他の補助として、高い効能、幅広い複数種のプロバイオティクスフォーミュラやプロバイオティクスを摂ることが、健康な腸内微生物バイオフィルムの形成を促進するためには重要な要素となります。抗真菌剤と共に摂ることも可能です。カプセルは、酵素の効果を最大化するために、食事とは別に摂る方が良いでしょう。